

セミアクティブ故障多発を申し入れ 7月に入って300系車両セミアクティブ故障多発??

JR東海労新幹線地本は、7月になって300系車両のセミアクティブ制振制御装置故障が毎日のように発生していることに対し会社に「申第5号」として7月30日に申し入れを行いました。

この故障は発生地点が49.1キロメートル付近の発生が一番多く小田原～新横浜間に集中していました。

会社の7月の指示はATCチャートの抜き取り、故障発生号車の台車入念点検でした。私たち運転所や車両所の現場の社員は、これほどまでセミアクティブ故障が多発しているのは、発生距離を見ても地上側に問題があるのではと管理者に聞いてみてもサッパリ返答がないのです。

しかし、8月になると今のところセミアクティブ故障の発生があがっていません。会社は社員に何の説明もなく何らかの処置を行ったのでしょうか？ 早急に業務委員会を開催しセミアクティブ故障の原因を明らかにすべきです。 以下のように申し入れました。

- 1 小田原～新横浜間における300系車両のセミアクティブ制振制御装置故障の発生状況について、今年度の4月から月別かつ編成・号車別に明らかにすること。
- 2 小田原～新横浜間における300系車両のセミアクティブ制振制御装置故障の多発については車両側あるいは施設側等の問題があると思われるが、会社の考え方について明らかにすること。
- 3 300系車両のセミアクティブ制振制御装置故障の発生原因について明らかにすること。なお、原因が判明されていなければ、想定される原因および調査状況について明らかにすること。
- 4 300系車両のセミアクティブ制振制御装置故障の多発に対する対策について明らかにすること。